

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	農業集落排水資源循環統合補助事業	都道府県名	山形県	地区名	浜中
-----	------------------	-------	-----	-----	----

1. 総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	1,672,489 千円	
当該事業による費用	②	1,418,504 千円	
その他費用	③	253,985 千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	46 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）	⑤	2,132,791 千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.28	

2. 年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
維持管理費節減効果 （農業用排水施設）	1,775 千円	事業により、水質が良好となり、従来の水路と比較して泥の堆積やゴミの投棄も少なくなり、農業用排水施設の維持管理が軽減される効果
地域資源有効利用効果 （汚泥農地還元効果）	555 千円	事業により、し尿の一部が堆肥として農地還元されることにより、汚泥処分費用や化学肥料の節減等が図られる効果
農業労働環境改善効果 （不快農作業の解消）	220 千円	事業により、農業用水の水質が改善され、悪臭を放つ農業用水の利用に伴って発生していた農作業の不快感が解消される効果
農業労働環境改善効果 （不快用排水施設における維持管理作業の解消）	268 千円	事業により、農業用排水路の水質が改善され、悪臭の発生等が軽減し、農業用排水路の清掃作業等に伴う不快感が解消される効果
生活環境改善効果 （トイレの水洗化による生活快適性向上）	56,522 千円	事業により、くみ取り式トイレの世帯は水洗トイレとなり、生活の快適性が向上する効果
生活環境改善効果 （風呂や台所等の利便性向上）	2,005 千円	事業により、排水管路の整備にあわせて、風呂・台所等の水周りの整備が誘発され、生活の利便性が向上する効果
生活環境改善効果 （集落内水路、周辺水路の衛生水準向上）	24,164 千円	事業により、集落内水路、周辺水路の水質が改善され、悪臭や水路からのハエ等の発生が減少し、衛生水準が改善される効果

効果項目	年効果額	効果の要因
維持管理節減効果 (農業生産以外)	19,101 千円	これまでくみ取りトイレだったものが、水洗トイレと農業集落排水施設に代わることによる維持管理に係る経費の差額
公共用水域水質保全効果	13,105 千円	事業により、公共用水域の水質が保全され、景観の回復や、レクリエーション機会の増加、上水道の浄化が容易になる等の効果
農村空間快適性向上効果	18,631 千円	事業により、集落内水路や周辺水路の水質が改善、景観等が保全され、水路周辺のアメニティが良好となる効果
計	136,346 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	農業集落排水資源循環統合補助事業	都道府県名	茨城県	地区名	下大野上大野 (2期)
-----	------------------	-------	-----	-----	----------------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	4,017,907千円	
年 効 用	②	256,698千円	
廃 用 損 失 額	③	-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	38年	当該事業の耐用年数
還 元 率	⑤	0.0516	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	$⑥ = ② \div ⑤ - ③$	4,974,767千円	
費 用 便 益 比	$⑦ = ⑥ \div ①$	1.23	

2. 年効用の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果（農作物被害解消効果）	5,379 千円	農業用水の水質汚濁により、低下していた作物収穫量が回復し、作物単収が増加する効果 (作物：水稲)
営農経費節減効果	9,695 千円	事業により、農業用水の水質が改善され、過繁茂による稲の倒伏等の被害が改善される効果 (作物：水稲)
維持管理費節減効果（農業用排水施設）（用排水施設維持管理軽減効果）	1,381 千円	事業により、水質が良好となり、従来の水路と比較して泥の堆積やゴミの投棄も少なくなり、農業用排水施設の維持管理が軽減される効果
地域資源有効利用効果（処理水リサイクル）（処理水リサイクル効果）	8,808 千円	事業により、農業集落排水施設の処理水が農業用排水路に還元され、補給水や地域用水等として再利用される効果
地域資源有効利用効果（汚泥農地還元）（汚泥農地還元効果）	386 千円	事業により、し尿の一部が堆肥として農地還元されることにより、汚泥処分費用や化学肥料の節減等が図られる効果
農業労働環境改善効果（不快農作業の解消）（不快農作業解消効果）	1,009 千円	事業により、農業用水の水質が改善され、悪臭を放つ農業用水の利用に伴って発生していた農作業の不快感が解消される効果

効果項目	年効果額	効果の要因
農業労働環境改善効果 (不快用排水施設における維持管理作業の解消) (不快用排水施設維持管理作業解消効果)	154 千円	事業により、農業用排水路の水質が改善され、悪臭の発生等が軽減し、農業用排水路の清掃作業等に伴う不快感が解消される効果
生活環境改善効果(トイレの水洗化による生活快適性向上)(水洗化による生活快適性向上効果)	161,422 千円	事業により、くみ取り式トイレの世帯は水洗トイレとなり、生活の快適性が向上する効果
生活環境改善効果(風呂や台所等の利便性向上)(水周り利便性向上効果)	30,473 千円	事業により、排水管路の整備にあわせて、風呂・台所等の水周りの整備が誘発され、生活の利便性が向上する効果
生活環境改善効果(集落内水路、周辺水路の衛生水準向上)(衛生水準向上効果)	8,840 千円	事業により、集落内水路、周辺水路の水質が改善され、悪臭や水路からのハエ等の発生が減少し、衛生水準が改善される効果
維持管理節減効果(農業生産以外)(維持管理費節減効果)	-9,090 千円	これまでくみ取りトイレだったものが、水洗トイレと農業集落排水施設に代わることによる維持管理に係る経費の差額
公共用水域水質保全効果	15,598 千円	事業により、公共用水域の水質が保全され、景観の回復や、レクリエーション機会の増加、上水道の浄化が容易になる等の効果
農村空間快適性向上効果	22,643 千円	事業により、集落内水路や周辺水路の水質が改善、景観等が保全され、水路周辺のアメニティが良好となる効果

※本地区は「農業集落排水事業費用対効果分析マニュアル」(平成20年3月31日付19農振第1930号農林水産省農村振興局企画部長通知)が制定される以前のマニュアル(案)に基づき投資効率方式で算定していたため、本様式で整理した。

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	農業集落排水資源循環統合補助事業	都道府県名	茨城県	地区名	三島（１期）
-----	------------------	-------	-----	-----	--------

１．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	2,066,986 千円	
当該事業による費用	②	1,778,104 千円	
その他費用	③	288,882 千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	49 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）	⑤	2,388,502 千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.15	

２．年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	13,889 千円	農業用水の水質汚濁により、低下していた作物収穫量が回復し、作物単収が増加する効果 （作物：水稲）
品質向上効果	13,060 千円	農業用水の水質汚濁により、低下していた作物品質が回復し、作物品質が向上する効果 （作物：水稲）
営農経費節減効果	40,137 千円	事業により、農業用水の水質が改善され、過繁茂による稲の倒伏等の被害が改善される効果 （作物：水稲）
維持管理費節減効果（農業用排水施設）	760 千円	事業により、水質が良好となり、従来の水路と比較して泥の堆積やゴミの投棄も少なくなり、農業用排水施設の維持管理が軽減される効果
地域資源有効利用効果（処理水リサイクル）	3,781 千円	事業により、農業集落排水施設の処理水が農業用排水路に還元され、補給水や地域用水等として再利用される効果
地域資源有効利用効果（汚泥農地還元効果）	249 千円	事業により、し尿の一部が堆肥として農地還元されることにより、汚泥処分費用や化学肥料の節減等が図られる効果
農業労働環境改善効果（不快農作業の解消）	2,673 千円	事業により、農業用水の水質が改善され、悪臭を放つ農業用水の利用に伴って発生していた農作業の不快感が解消される効果

効果項目	年効果額	効果の要因
農業労働環境改善効果 (不快用排水施設における維持管理作業の解消)	100 千円	事業により、農業用排水路の水質が改善され、悪臭の発生等が軽減し、農業用排水路の清掃作業等に伴う不快感が解消される効果
生活環境改善効果(トイレの水洗化による生活快適性向上)	34,581 千円	事業により、くみ取り式トイレの世帯は水洗トイレとなり、生活の快適性が向上する効果
生活環境改善効果(風呂や台所等の利便性向上)	12,604 千円	事業により、排水管路の整備にあわせて、風呂・台所等の水周りの整備が誘発され、生活の利便性が向上する効果
生活環境改善効果(集落内水路、周辺水路の衛生水準向上)	5,634 千円	事業により、集落内水路、周辺水路の水質が改善され、悪臭や水路からのハエ等の発生が減少し、衛生水準が改善される効果
維持管理節減効果(農業生産以外)	2,060 千円	これまでくみ取りトイレだったものが、水洗トイレと農業集落排水施設に代わることによる維持管理に係る経費の差額
公共用水域水質保全効果	6,088 千円	事業により、公共用水域の水質が保全され、景観の回復や、レクリエーション機会の増加、上水道の浄化が容易になる等の効果
農村空間快適性向上効果	11,204 千円	事業により、集落内水路や周辺水路の水質が改善、景観等が保全され、水路周辺のアメニティが良好となる効果
計	146,820 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	農業集落排水資源循環統合補助事業	都道府県名	茨城県	地区名	葛生
-----	------------------	-------	-----	-----	----

1. 総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	1,514,600 千円	
当該事業による費用	②	1,318,900 千円	
その他費用	③	195,700 千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	45 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）	⑤	2,304,643 千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.52	

2. 年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	388 千円	農業用水の水質汚濁により、低下していた作物収穫量が回復し、作物単収が増加する効果 （作物：水稲）
品質向上効果	370 千円	農業用水の水質汚濁により、低下していた作物品質が回復し、作物品質が向上する効果 （作物：水稲）
営農経費節減効果	1,233 千円	事業により、農業用水の水質が改善され、過繁茂による稲の倒伏等の被害が改善される効果 （作物：水稲）
維持管理費節減効果（農業用排水施設）	769 千円	事業により、水質が良好となり、従来の水路と比較して泥の堆積やゴミの投棄も少なくなり、農業用排水施設の維持管理が軽減される効果
地域資源有効利用効果（処理水リサイクル）	5,980 千円	事業により、農業集落排水施設の処理水が農業用排水路に還元され、補給水や地域用水等として再利用される効果
地域資源有効利用効果（汚泥農地還元効果）	393 千円	事業により、し尿の一部が堆肥として農地還元されることにより、汚泥処分費用や化学肥料の節減等が図られる効果
農業労働環境改善効果（不快農作業の解消）	82 千円	事業により、農業用水の水質が改善され、悪臭を放つ農業用水の利用に伴って発生していた農作業の不快感が解消される効果

効果項目	年効果額	効果の要因
農業労働環境改善効果 (不快用排水施設における維持管理作業の解消)	101 千円	事業により、農業用排水路の水質が改善され、悪臭の発生等が軽減し、農業用排水路の清掃作業等に伴う不快感が解消される効果
生活環境改善効果(トイレの水洗化による生活快適性向上)	57,545 千円	事業により、くみ取り式トイレの世帯は水洗トイレとなり、生活の快適性が向上する効果
生活環境改善効果(風呂や台所等の利便性向上)	18,858 千円	事業により、排水管路の整備にあわせて、風呂・台所等の水周りの整備が誘発され、生活の利便性が向上する効果
生活環境改善効果(集落内水路、周辺水路の衛生水準向上)	17,895 千円	事業により、集落内水路、周辺水路の水質が改善され、悪臭や水路からのハエ等の発生が減少し、衛生水準が改善される効果
維持管理節減効果(農業生産以外)	5,373 千円	これまでくみ取りトイレだったものが、水洗トイレと農業集落排水施設に代わることによる維持管理に係る経費の差額
公共用水域水質保全効果	14,015 千円	事業により、公共用水域の水質が保全され、景観の回復や、レクリエーション機会の増加、上水道の浄化が容易になる等の効果
農村空間快適性向上効果	18,663 千円	事業により、集落内水路や周辺水路の水質が改善、景観等が保全され、水路周辺のアメニティが良好となる効果
計	141,665 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	農業集落排水資源循環統合補助事業	都道府県名	神奈川	地区名	土屋（２期）
-----	------------------	-------	-----	-----	--------

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	2, 6 9 5, 2 7 8千円	
年 効 用	②	3 7 1, 2 0 7千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数	④	3 6 年	当該事業の耐用年数
還 元 率	⑤	0. 0 5 2 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥＝②÷⑤－③	7, 0 1 7, 1 4 6千円	
費 用 便 益 比	⑦＝⑥÷①	2. 6 0	

２．年効用の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果（農作物被害解消効果）	1, 8 0 7 千円	農業用水の水質汚濁により、低下していた作物収穫量が回復し、作物単収が増加する効果（作物：水稲）
営農経費節減効果	9 9 0 千円	事業により、農業用水の水質が改善され、過繁茂による稲の倒伏等の被害が改善される効果（作物：水稲）
維持管理費節減効果（農業用排水施設）（用排水施設維持管理軽減効果）	1, 7 7 6千円	事業により、水質が良好となり、従来の水路と比較して泥の堆積やゴミの投棄も少なくなり、農業用排水施設の維持管理が軽減される効果
地域資源有効利用効果（処理水リサイクル）（処理水リサイクル効果）	2 2, 8 0 4千円	事業により、農業集落排水施設の処理水が農業用排水路に還元され、補給水や地域用水等として再利用される効果
農業労働環境改善効果（不快農作業の解消）（不快農作業解消効果）	2 3 9千円	事業により、農業用水の水質が改善され、悪臭を放つ農業用水の利用に伴って発生していた農作業の不快感が解消される効果
農業労働環境改善効果（不快排水施設における維持管理作業の解消）（不快排水施設維持管理作業解消効果）	5 2千円	事業により、農業用排水路の水質が改善され、悪臭の発生等が軽減し、農業用排水路の清掃作業等に伴う不快感が解消される効果

効果項目	年効果額	効果の要因
生活環境改善効果（トイレの水洗化による生活快適性向上）（水洗化による生活快適性向上効果）	千円 179,366	事業により、くみ取り式トイレの世帯は水洗トイレとなり、生活の快適性が向上する効果
生活環境改善効果（風呂や台所等の利便性向上）（水周り利便性向上効果）	40,881千円	事業により、排水管路の整備にあわせて、風呂・台所等の水周りの整備が誘発され、生活の利便性が向上する効果
生活環境改善効果（集落内水路、周辺水路の衛生水準向上）（衛生水準向上効果）	29,454千円	事業により、集落内水路、周辺水路の水質が改善され、悪臭や水路からのハエ等の発生が減少し、衛生水準が改善される効果
維持管理節減効果（農業生産以外）（維持管理費節減効果）	50,348千円	これまでくみ取りトイレだったものが、水洗トイレと農業集落排水施設に代わることによる維持管理に係る経費の差額
公共用水域水質保全効果	18,830千円	事業により、公共用水域の水質が保全され、景観の回復や、レクリエーション機会の増加、上水道の浄化が容易になる等の効果
農村空間快適性向上効果	21,164千円	事業により、集落内水路や周辺水路の水質が改善、景観等が保全され、水路周辺のアメニティが良好となる効果
農業集落道に係る効果	3,496千円	事業により、管路の維持管理だけでなく、緊急車両の進入が容易になり、住民生活の安全性が向上し、農作物の輸送経費等が節減される効果等

※本地区は「農業集落排水事業費用対効果分析マニュアル」（平成20年3月31日付19農振第1930号農林水産省農村振興局企画部長通知）が制定される以前のマニュアル（案）に基づき投資効率方式で算定していたため、本様式で整理した。

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	農業集落排水資源循環統合補助事業	都道府県名	愛知	地区名	嵩山（１期）
-----	------------------	-------	----	-----	--------

１．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	1,624,691 千円	
当該事業による費用	②	1,326,796 千円	
その他費用	③	297,895 千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	46 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）	⑤	2,222,804 千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.37	

２．年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	877 千円	農業用水の水質汚濁により、低下していた作物収穫量が回復し、作物単収が増加する効果 （作物：水稲）
品質向上効果	396 千円	農業用水の水質汚濁により、低下していた作物品質が回復し、作物品質が向上する効果 （作物：水稲）
営農経費節減効果	554 千円	事業により、農業用水の水質が改善され、過繁茂による稲の倒伏等の被害が改善される効果 （作物：水稲）
維持管理費節減効果（農業用排水施設）	2,023 千円	事業により、水質が良好となり、従来の水路と比較して泥の堆積やゴミの投棄も少なくなり、農業用排水施設の維持管理が軽減される効果
地域資源有効利用効果（処理水リサイクル）	18,524 千円	事業により、農業集落排水施設の処理水が農業用排水路に還元され、補給水や地域用水等として再利用される効果
地域資源有効利用効果（汚泥農地還元効果）	－ 千円	事業により、し尿の一部が堆肥として農地還元されることにより、汚泥処分費用や化学肥料の節減等が図られる効果
農業労働環境改善効果（不快農作業の解消）	126 千円	事業により、農業用水の水質が改善され、悪臭を放つ農業用水の利用に伴って発生していた農作業の不快感が解消される効果

効果項目	年効果額	効果の要因
農業労働環境改善効果 (不快用排水施設における維持管理作業の解消)	208 千円	事業により、農業用排水路の水質が改善され、悪臭の発生等が軽減し、農業用排水路の清掃作業等に伴う不快感が解消される効果
生活環境改善効果(トイレの水洗化による生活快適性向上)	56,213 千円	事業により、くみ取り式トイレの世帯は水洗トイレとなり、生活の快適性が向上する効果
生活環境改善効果(風呂や台所等の利便性向上)	25,350 千円	事業により、排水管路の整備にあわせて、風呂・台所等の水周りの整備が誘発され、生活の利便性が向上する効果
生活環境改善効果(集落内水路、周辺水路の衛生水準向上)	7,786 千円	事業により、集落内水路、周辺水路の水質が改善され、悪臭や水路からのハエ等の発生が減少し、衛生水準が改善される効果
維持管理節減効果(農業生産以外)	8,888 千円	これまでくみ取りトイレだったものが、水洗トイレと農業集落排水施設に代わることによる維持管理に係る経費の差額
公共用水域水質保全効果	15,336 千円	事業により、公共用水域の水質が保全され、景観の回復や、レクリエーション機会の増加、上水道の浄化が容易になる等の効果
農村空間快適性向上効果	20,787 千円	事業により、集落内水路や周辺水路の水質が改善、景観等が保全され、水路周辺のアメニティが良好となる効果
計	157,068 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	農業集落排水資源循環統合補助事業	都道府県名	愛知	地区名	新城南部 (1期)
-----	------------------	-------	----	-----	--------------

1. 総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	2,945,100 千円	
当該事業による費用	②	2,528,135 千円	
その他費用	③	416,965 千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	46 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）	⑤	3,808,612 千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.29	

2. 年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	1,298 千円	農業用水の水質汚濁により、低下していた作物収穫量が回復し、作物単収が増加する効果 (作物：水稲)
品質向上効果	648 千円	農業用水の水質汚濁により、低下していた作物品質が回復し、作物品質が向上する効果 (作物：水稲)
営農経費節減効果	898 千円	事業により、農業用水の水質が改善され、過繁茂による稲の倒伏等の被害が改善される効果 (作物：水稲)
維持管理費節減効果（農業用排水施設）	3,096 千円	事業により、水質が良好となり、従来の水路と比較して泥の堆積やゴミの投棄も少なくなり、農業用排水施設の維持管理が軽減される効果
地域資源有効利用効果（処理水リサイクル）	30,312 千円	事業により、農業集落排水施設の処理水が農業用排水路に還元され、補給水や地域用水等として再利用される効果
地域資源有効利用効果（汚泥農地還元効果）	857 千円	事業により、し尿の一部が堆肥として農地還元されることにより、汚泥処分費用や化学肥料の節減等が図られる効果
農業労働環境改善効果（不快農作業の解消）	204 千円	事業により、農業用水の水質が改善され、悪臭を放つ農業用水の利用に伴って発生していた農作業の不快感が解消される効果

効果項目	年効果額	効果の要因
農業労働環境改善効果 (不快用排水施設における維持管理作業の解消)	318 千円	事業により、農業用排水路の水質が改善され、悪臭の発生等が軽減し、農業用排水路の清掃作業等に伴う不快感が解消される効果
生活環境改善効果(トイレの水洗化による生活快適性向上)	87,813 千円	事業により、くみ取り式トイレの世帯は水洗トイレとなり、生活の快適性が向上する効果
生活環境改善効果(風呂や台所等の利便性向上)	41,184 千円	事業により、排水管路の整備にあわせて、風呂・台所等の水周りの整備が誘発され、生活の利便性が向上する効果
生活環境改善効果(集落内水路、周辺水路の衛生水準向上)	26,534 千円	事業により、集落内水路、周辺水路の水質が改善され、悪臭や水路からのハエ等の発生が減少し、衛生水準が改善される効果
維持管理節減効果(農業生産以外)	16,722 千円	これまでくみ取りトイレだったものが、水洗トイレと農業集落排水施設に代わることによる維持管理に係る経費の差額
公共用水域水質保全効果	25,974 千円	事業により、公共用水域の水質が保全され、景観の回復や、レクリエーション機会の増加、上水道の浄化が容易になる等の効果
農村空間快適性向上効果	33,264 千円	事業により、集落内水路や周辺水路の水質が改善、景観等が保全され、水路周辺のアメニティが良好となる効果
計	269,122 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	農業集落排水資源循環統合補助事業	都道府県名	愛知	地区名	中山（１期）
-----	------------------	-------	----	-----	--------

１．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	2,011,264 千円	
当該事業による費用	②	1,740,077 千円	
その他費用	③	271,187 千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	46 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）	⑤	2,098,368 千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.04	

２．年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	690 千円	農業用水の水質汚濁により、低下していた作物収穫量が回復し、作物単収が増加する効果 （作物：水稲）
品質向上効果	312 千円	農業用水の水質汚濁により、低下していた作物品質が回復し、作物品質が向上する効果 （作物：水稲）
営農経費節減効果	453 千円	事業により、農業用水の水質が改善され、過繁茂による稲の倒伏等の被害が改善される効果 （作物：水稲）
維持管理費節減効果（農業用排水施設）	2,267 千円	事業により、水質が良好となり、従来の水路と比較して泥の堆積やゴミの投棄も少なくなり、農業用排水施設の維持管理が軽減される効果
地域資源有効利用効果（汚泥農地還元効果）	684 千円	事業により、し尿の一部が堆肥として農地還元されることにより、汚泥処分費用や化学肥料の節減等が図られる効果
農業労働環境改善効果（不快農作業の解消）	103 千円	事業により、農業用水の水質が改善され、悪臭を放つ農業用水の利用に伴って発生していた農作業の不快感が解消される効果
農業労働環境改善効果（不快排水施設における維持管理作業の解消）	233 千円	事業により、農業用排水路の水質が改善され、悪臭の発生等が軽減し、農業用排水路の清掃作業等に伴う不快感が解消される効果

効果項目	年効果額	効果の要因
生活環境改善効果（トイレの水洗化による生活快適性向上）	57,766 千円	事業により、くみ取り式トイレの世帯は水洗トイレとなり、生活の快適性が向上する効果
生活環境改善効果（風呂や台所等の利便性向上）	20,319 千円	事業により、排水管路の整備にあわせて、風呂・台所等の水周りの整備が誘発され、生活の利便性が向上する効果
生活環境改善効果（集落内水路、周辺水路の衛生水準向上）	30,318 千円	事業により、集落内水路、周辺水路の水質が改善され、悪臭や水路からのハエ等の発生が減少し、衛生水準が改善される効果
維持管理節減効果（農業生産以外）	1,114 千円	これまでくみ取りトイレだったものが、水洗トイレと農業集落排水施設に代わることによる維持管理に係る経費の差額
公共用水域水質保全効果	16,302 千円	事業により、公共用水域の水質が保全され、景観の回復や、レクリエーション機会の増加、上水道の浄化が容易になる等の効果
農村空間快適性向上効果	17,714 千円	事業により、集落内水路や周辺水路の水質が改善、景観等が保全され、水路周辺のアメニティが良好となる効果
計	148,275 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	農業集落排水資源循環統合補助事業	都道府県名	三重県	地区名	昼生
-----	------------------	-------	-----	-----	----

1. 総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	2,223,412 千円	
当該事業による費用	②	1,957,897 千円	
その他費用	③	265,515 千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	46 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）	⑤	2,309,287 千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.03	

2. 年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	703 千円	農業用水の水質汚濁により、低下していた作物収穫量が回復し、作物単収が増加する効果 （作物：水稲）
品質向上効果	1,128 千円	農業用水の水質汚濁により、低下していた作物品質が回復し、作物品質が向上する効果 （作物：水稲）
営農経費節減効果	2,895 千円	事業により、農業用水の水質が改善され、過繁茂による稲の倒伏等の被害が改善される効果 （作物：水稲）
維持管理費節減効果 （農業用排水施設）	1,396 千円	事業により、水質が良好となり、従来の水路と比較して泥の堆積やゴミの投棄も少なくなり、農業用排水施設の維持管理が軽減される効果
地域資源有効利用効果 （処理水リサイクル）	4,306 千円	事業により、農業集落排水施設の処理水が農業用排水路に還元され、補給水や地域用水等として再利用される効果
農業労働環境改善効果 （不快農作業の解消）	197 千円	事業により、農業用水の水質が改善され、悪臭を放つ農業用水の利用に伴って発生していた農作業の不快感が解消される効果
農業労働環境改善効果 （不快排水施設における維持管理作業の解消）	147 千円	事業により、農業用排水路の水質が改善され、悪臭の発生等が軽減し、農業用排水路の清掃作業等に伴う不快感が解消される効果

効果項目	年効果額	効果の要因
生活環境改善効果 (トイレの水洗化による生活快適性向上)	55,186 千円	事業により、くみ取り式トイレの世帯は水洗トイレとなり、生活の快適性が向上する効果
生活環境改善効果 (風呂や台所等の利便性向上)	25,532 千円	事業により、排水管路の整備にあわせて、風呂・台所等の水周りの整備が誘発され、生活の利便性が向上する効果
生活環境改善効果 (集落内水路、周辺水路の衛生水準向上)	6,596 千円	事業により、集落内水路、周辺水路の水質が改善され、悪臭や水路からのハエ等の発生が減少し、衛生水準が改善される効果
維持管理節減効果 (農業生産以外)	12,345 千円	これまでくみ取りトイレだったものが、水洗トイレと農業集落排水施設に代わることによる維持管理に係る経費の差額
公共用水域水質保全効果	16,576 千円	事業により、公共用水域の水質が保全され、景観の回復や、レクリエーション機会の増加、上水道の浄化が容易になる等の効果
農村空間快適性向上効果	20,622 千円	事業により、集落内水路や周辺水路の水質が改善、景観等が保全され、水路周辺のアメニティが良好となる効果
計	147,629 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	農業集落排水資源循環統合補助事業	都道府県名	奈良県	地区名	東部第2－2 (2期)
-----	------------------	-------	-----	-----	----------------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	3,933,308 千円	総費用（補助+単独+事務費+宅内改造）
年 効 用	②	406,427 千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	34 年	当該事業の耐用年数
還元率×（1＋建設利息率）	⑤	0.0543	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥＝②÷⑤－③	7,484,843 千円	
費 用 便 益 比	⑦＝⑥÷①	1.90	

2. 年効用の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果（農作物被害解消効果）	4,137千円	農業用水の水質汚濁により、低下していた作物収穫量が回復し、作物単収が増加する効果 （作物：水稲）
品質向上効果（農作物被害解消効果）	1,531千円	農業用水の水質汚濁により、低下していた作物品質が回復し、作物品質が向上する効果 （作物：水稲）
営農経費節減効果	312千円	事業により、農業用水の水質が改善され、過繁茂による稲の倒伏等の被害が改善される効果 （作物：水稲）
維持管理費節減効果（農業用排水施設）（用排水施設維持管理軽減効果）	741千円	事業により、水質が良好となり、従来の水路と比較して泥の堆積やゴミの投棄も少なくなり、農業用排水施設の維持管理が軽減される効果
地域資源有効利用効果（処理水リサイクル）（処理水リサイクル効果）	12,823千円	事業により、農業集落排水施設の処理水が農業用排水路に還元され、補給水や地域用水等として再利用される効果
地域資源有効利用効果（汚泥農地還元）（汚泥農地還元効果）	500千円	事業により、し尿の一部が堆肥として農地還元されることにより、汚泥処分費用や化学肥料の節減等が図られる効果
農業労働環境改善効果（不快農作業の解消）（不快農作業解消効果）	1,199千円	事業により、農業用水の水質が改善され、悪臭を放つ農業用水の利用に伴って発生していた農作業の不快感が解消される効果

効果項目	年効果額	効果の要因
農業労働環境改善効果 (不快用排水施設における 維持管理作業の解消) (不快用排水施設維持管 理作業解消効果)	74千円	事業により、農業用排水路の水質が改善され、悪臭の発生等が軽減し、農業用排水路の清掃作業等に伴う不快感が解消される効果
生活環境改善効果(トイレの水洗化による生活快適性向上)(水洗化による生活快適性向上効果)	257,127千円	事業により、くみ取り式トイレの世帯は水洗トイレとなり、生活の快適性が向上する効果
生活環境改善効果(風呂や台所等の利便性向上)(水周り利便性向上効果)	53,317千円	事業により、排水管路の整備にあわせて、風呂・台所等の水周りの整備が誘発され、生活の利便性が向上する効果
生活環境改善効果(集落内水路、周辺水路の衛生水準向上)(衛生水準向上効果)	8,110千円	事業により、集落内水路、周辺水路の水質が改善され、悪臭や水路からのハエ等の発生が減少し、衛生水準が改善される効果
維持管理節減効果(農業生産以外)(維持管理費節減効果)	8,507千円	これまでくみ取りトイレだったものが、水洗トイレと農業集落排水施設に代わることによる維持管理に係る経費の差額
公共用水域水質保全効果	22,274千円	事業により、公共用水域の水質が保全され、景観の回復や、レクリエーション機会の増加、上水道の浄化が容易になる等の効果
農村空間快適性向上効果	35,775千円	事業により、集落内水路や周辺水路の水質が改善、景観等が保全され、水路周辺のアメニティが良好となる効果

※本地区は「農業集落排水事業費用対効果分析マニュアル」(平成20年3月31日付19農振第1930号農林水産省農村振興局企画部長通知)が制定される以前のマニュアル(案)に基づき投資効率方式で算定していたため、本様式で整理した。

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	農業集落排水資源循環統合補助事業	都道府県名	岡山県	地区名	上水田・山田 (2期)
-----	------------------	-------	-----	-----	----------------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	2,964,558 千円	)
年 効 用	②	329,289 千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数	④	31 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0569	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	5,787,153 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.95	

2. 年効用の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果（農作物被害解消効果）	2,936 千円	農業用水の水質汚濁により、低下していた作物収穫量が回復し、作物単収が増加する効果 (作物：水稲)
営農経費節減効果	8,298 千円	事業により、農業用水の水質が改善され、過繁茂による稲の倒伏等の被害が改善される効果 (作物：水稲)
維持管理費節減効果（農業用排水施設）（用排水施設維持管理軽減効果）	1,460 千円	事業により、水質が良好となり、従来の水路と比較して泥の堆積やゴミの投棄も少なくなり、農業用排水施設の維持管理が軽減される効果
地域資源有効利用効果（処理水リサイクル）（処理水リサイクル効果）	28,930 千円	事業により、農業集落排水施設の処理水が農業用排水路に還元され、補給水や地域用水等として再利用される効果
地域資源有効利用効果（汚泥農地還元）（汚泥農地還元効果）	563 千円	事業により、し尿の一部が堆肥として農地還元されることにより、汚泥処分費用や化学肥料の節減等が図られる効果
農業労働環境改善効果（不快農作業の解消）（不快農作業解消効果）	757 千円	事業により、農業用水の水質が改善され、悪臭を放つ農業用水の利用に伴って発生していた農作業の不快感が解消される効果

効果項目	年効果額	効果の要因
農業労働環境改善効果 (不快用排水施設における 維持管理作業の解消) (不快用排水施設維持管 理作業解消効果)	180 千円	事業により、農業用排水路の水質が改善され、悪臭の発生等が軽減し、農業用排水路の清掃作業等に伴う不快感が解消される効果
生活環境改善効果(トイレの水洗化による生活快適性向上)(水洗化による生活快適性向上効果)	155,999 千円	事業により、くみ取り式トイレの世帯は水洗トイレとなり、生活の快適性が向上する効果
生活環境改善効果(風呂や台所等の利便性向上)(水周り利便性向上効果)	40,322 千円	事業により、排水管路の整備にあわせて、風呂・台所等の水周りの整備が誘発され、生活の利便性が向上する効果
生活環境改善効果(集落内水路、周辺水路の衛生水準向上)(衛生水準向上効果)	69,876 千円	事業により、集落内水路、周辺水路の水質が改善され、悪臭や水路からのハエ等の発生が減少し、衛生水準が改善される効果
維持管理節減効果(農業生産以外)(維持管理費節減効果)	-20,221 千円	これまでくみ取りトイレだったものが、水洗トイレと農業集落排水施設に代わることによる維持管理に係る経費の差額
公共用水域水質保全効果	16,840 千円	事業により、公共用水域の水質が保全され、景観の回復や、レクリエーション機会の増加、上水道の浄化が容易になる等の効果
農村空間快適性向上効果	23,349 千円	事業により、集落内水路や周辺水路の水質が改善、景観等が保全され、水路周辺のアメニティが良好となる効果

※本地区は「農業集落排水事業費用対効果分析マニュアル」(平成20年3月31日付19農振第1930号農林水産省農村振興局企画部長通知)が制定される以前のマニュアル(案)に基づき投資効率方式で算定していたため、本様式で整理した。

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	農業集落排水資源循環統合補助事業	都道府県名	沖縄	地区名	恩納第 1
-----	------------------	-------	----	-----	-------

1. 総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	5,226,001 千円	
当該事業による費用	②	4,142,859 千円	
その他費用	③	1,083,142 千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費＋宅内管路等
評価期間	④	50 年	当該事業の工事期間＋40 年
総便益額（現在価値化）	⑤	12,246,676 千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	2.34	

2. 年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
維持管理費節減効果（農業用排水施設）	千円 3,177	事業により、水質が良好となり、従来の水路と比較して泥の堆積やゴミの投棄も少なくなり、農業用排水施設の維持管理が軽減される効果
地域資源有効利用効果（処理水リサイクル）	千円 167,117	事業により、農業集落排水施設の処理水が農業用排水路に還元され、補給水や地域用水等として再利用される効果
地域資源有効利用効果（汚泥農地還元効果）	千円 3,557	事業により、し尿の一部が堆肥として農地還元されることにより、汚泥処分費用や化学肥料の節減等が図られる効果
農業労働環境改善効果（不快農作業の解消）	千円 6,424	事業により、農業用水の水質が改善され、悪臭を放つ農業用水の利用に伴って発生していた農作業の不快感が解消される効果
農業労働環境改善効果（不快排水施設における維持管理作業の解消）	千円 2,820	事業により、農業用排水路の水質が改善され、悪臭の発生等が軽減し、農業用排水路の清掃作業等に伴う不快感が解消される効果
生活環境改善効果（トイレの水洗化による生活快適性向上）	千円 461,929	事業により、くみ取り式トイレの世帯は水洗トイレとなり、生活の快適性が向上する効果
生活環境改善効果（風呂や台所等の利便性向上）	千円 9,723	事業により、排水管路の整備にあわせて、風呂・台所等の水周りの整備が誘発され、生活の利便性が向上する効果

効果項目	年効果額	効果の要因
生活環境改善効果（集落内水路、周辺水路の衛生水準向上）	千円 34,717	事業により、集落内水路、周辺水路の水質が改善され、悪臭や水路からのハエ等の発生が減少し、衛生水準が改善される効果
維持管理節減効果（農業生産以外）	千円 -36,590	これまでくみ取りトイレだったものが、水洗トイレと農業集落排水施設に代わることによる維持管理に係る経費の差額
公共用水域水質保全効果	千円 58,102	事業により、公共用水域の水質が保全され、景観の回復や、レクリエーション機会の増加、上水道の浄化が容易になる等の効果
農村空間快適性向上効果	千円 86,520	事業により、集落内水路や周辺水路の水質が改善、景観等が保全され、水路周辺のアメニティが良好となる効果
計	797,496 千円	